

閉会中の

農林
水産
委員会

高糖度トマト栽培農家・(株)セイフー柴又店・東京都中央卸売市場大田市場

高糖度トマトの栽培状況などを調査

ひたちなか市内で高糖度トマトを栽培している安勝徳氏を訪ねました。委員からは、安氏の経営理念やトマト栽培の状況などについて質問があり、「経営やマーケティングの視点を忘れずに自己の創意工夫を生かした農業経営を確立したい」との考えで経営に取り組んでいること、育苗の省力化や棄却培地の削減を図るため、県園芸研究所が開発した「培地バッグを利用した高糖度トマトの生産方式」を採用していること、JAひたちなかトマト部会に高糖度トマト研究会を設立して、5人の会員生産者により計7,500㎡のハウスで栽培に取り組み、組織的な販売を行っていることなどの説明を受けました。

次に、東京都内を中心に52店舗を展開している中堅スーパーのセイフー柴又店（葛飾区）を訪れて、本県農産物の販売状況について質疑を行いました。店舗からは、「いばらき農産物提供店」の指定を受けて、JAなめがたやJAかしまなどの本県鹿行地域の農産物を中心に販売を行っている状況について説明がありました。さらに、東京都中央卸売市場大田市場（大田区）を訪れ、本県農産物の取引状況について説明を受けました。市場卸会社からは、「調理が簡便な野菜が好まれる」「食育が進むと青果物の消費量は上がると思われる」などの意見がありました。



東京都中央卸売市場大田市場を視察

国道461号いぶき橋・国道245号新茂宮橋・国道293号常陸太田東バイパス

老朽化による橋の架け替え工事などを調査

土木
委員会



国道245号新茂宮橋の工事概要の説明を受ける

高萩土木事務所を訪れ、主要地方道日立笠間線の道路改良事業や有明・高浜海岸高潮対策事業などの説明を受けました。

委員からは、県北地域は道路整備が特に遅れており、県北振興のためには道路は欠かせないものであることから集中的に推進すべきとの意見があり、県は、予算が縮小している中ではあるが、重点的に進めるべきところは進め、整備効果を上げていきたいと答えました。

その後、本年3月に開通した国道461号いぶき橋、交通渋滞緩和や老朽化のため架け替え工事が進められている国道245号新茂宮橋を訪れ、進捗状況を確認しました。

次に、常陸太田土木事務所を訪れ、国道461号道路橋梁改良事業や常陸那珂港山方線（仮称木島橋）久慈川架橋整備事業などの説明を受けました。

委員からは、国道461号は車がすれ違えないなど非常に狭くひどい状況にあるが、観光道路の役割も果たしていることから早急に整備を進めるべきとの意見があり、県は、できる限り整備に努めていきたいと答えました。

その後、交通渋滞解消のため工事が進められている都市計画道路木崎稲木線や国道293号常陸太田東バイパスを訪れ、進捗状況を確認しました。

文教
治安
委員会

水戸市立第一中学校・県立緑岡高等学校・県警察本部科学捜査研究所

最新の科学捜査活動の状況などを調査

水戸市立第一中学校を訪れ、体験的な活動を生かした心の教育の推進など豊かな心をはぐくむ教育の実施状況について、説明を受けました。その後、1年生の「凍りついたザイル」、2年生の「私たちのさわやかマナーアップ」、3年生の「僕は伴走者」を題材とした道徳の授業の状況を視察しました。委員からは、道徳の授業を進めるにあたっての学校全体としての推進体制や他校との交流状況等について質問がありました。

次に訪れた県立緑岡高等学校では、学力向上のための施策として、英語、数学に非常勤講師各2名を配置し、学習習熟度別や進路別によるクラス編成で少人数指導等を実施する「高等学校学力向上スーパープラン（大学進学ジャンプアップスクール）」事業の取り組み状況やその成果について説明を受け、その後、同事業による少人数授業の様子を視察しました。

最後に、県警察本部の科学捜査研究所において、同研究所の概要や課題等について説明を受けました。委員からは、年々増加するDNA型鑑定に対し、今後どのように対応するのか質問があり、県警では増加する業務量に対応するため、体制の整備に努めていきたいと答えました。その後、DNA型の鑑定やポリグラフ検査・鑑定等の活動状況を視察しました。



科学捜査研究所で検査器材の説明を受ける